

# “みずあかり” 最終撤収作業

開催日時： 2008年10月13日(月)

場所:熊本城坪井川

## いよいよ最終撤収作業です。

7月から行ってきた“みずあかり”の準備作業〜2日間の開催を経ていよいよ最終の撤収作業となりました。坪井川の撤収や備品のRKK倉庫への搬入、などほぼ一日掛かりでの作業でした。



撤収作業は、自衛隊熊本地方協力本部、日赤熊本、大学生や若者、そしていくに会トイレバスターズの皆さんに活躍していただき、夕方までに全ての撤収作業を終えることが出来ました。



多くの『熊本力』の結集が、5万4千個もの灯りをともし、その灯りで20万人以上県内外の人々の心を和ませ、癒せたのではないのでしょうか。

### みずあかり御礼

今年の「みずあかり」も皆様のお陰で、昨年にも増しての多くの来場者をお迎えし、無事に終了することが出来ました。

いつもながら、皆様のお力やご協力に感謝の一念です。

いくに会の立ち上げと同時に「みずあかり」を起案し、実行委員長をお引き受けすることになりました。5年が過ぎました。この間、いくに会の運動を象徴するように、「二隅を照らす」ボランティアの灯の広がり「みずあかり」となり、市民の大きな期待に繋がっている事を確信しています。

今年は、特に竹出しの過酷な作業がみなを苦しめました。その中で、自衛隊の方々やバスターズの信頼に満ちた力が、作業に関わったボランティアに大きな勇気を与えることになりました。みんな嫌がる雨の中のドブネズミ状態での作業の中、バスターズの存在は涙が出るほど嬉しく、そして心強くもありました。

又、厳しい経営環境の中に快く協賛に応じていただいた各代表者の皆様方にも心より感謝申し上げます。

「世にほしあかり、みずあかり」と言う季節があります。人が苦しみや哀しみや孤独感を感じたときに、勇気を与えてくれる存在の意味であるそうです。

熊本暮らし人祭り「みずあかり」も「熊本いくに会」と同じように、人を孤独から救い、いつも誰かに光を投げかける勇氣の存在である事を示していければ至上の喜びです。又その役を常に率先して担っていただいております「熊本いくに会」会員の全てに心より感謝申し上げます。次第でございます。

熊本いくに会 幹事

みずあかり実行委員長

石原靖也